

皇大神宮 内宮

こうたいじんくう (ないくう)

皇室のご祖神の天照大神をおまつりする、わが国で最も尊いお宮です。五十鈴川の川上に千古の森に囲まれて、2000年の時を超えて古代のたたずまいを今日に伝えています。



▶ 正宮 しょうぐう
社殿の中心の正殿(しょうでん)は五重の屋根に囲まれています。唯一神明造(ゆいしんぞう)の古代の様式を伝え、堂舞き(やまぶき)の屋根には10本の樫木(かき)がのせられ、4本の千木(ちぎ)の先端は水平に切られています。

▶ 荒祭宮 あらまつりのみや
天照大神(あまてらすおおみかみ)の荒御魂(あらかみたま)をまつる別宮(べつぐう)で、荒御魂とは神の特別な働きをする状態、または神が現れた状態といわれています。

▶ 新御敷地 しんみしかち
正宮の敷地は東西に2カ所あり、20年に一度の式年遷宮(しきねんせんぐう)で社殿が新しく建て替えられます。平成25年にはここに新しい社殿が建てられます。

▶ 御饗調合 みにあじょうしゃ
お祭りの時にお伏するアツビを調理する儀式が行われます。

▶ 子安神社 こやすじんじや
木草間耶麻命(このはなさくやひのみこと)をおまつりしています。奥にある大山紙(おおやまみ)神社の祭神の娘にあたります。縁結び、子育て、安産、子育ての信仰があります。

▶ 参集殿 さんしゅうでん
参拝者用休憩所で、神宮のビデオを上映しています。ここには能舞台があり奉納行事などに使われます。ここでもお札やお守りを受けられます。

▶ 神楽殿 かぐらでん
ご祈禱(かとう)のお神楽(かぐら)を行う御殿(みどの)です。隣の御饗殿(みけでん)でもご祈禱をしています。お札やお守りはここで受けられます。

お札やお守りは
ここで受け下さい

▶ 宇治橋 うじはし
五十鈴川に架けられた木造の橋は神宮の表玄関です。長さは101.8m、両はしの鳥居は、旧正宮の旧正殿棟持柱(むなもちばしら)をリサイクルしています。

▶ 風日祈宮 かざひのみみや
かざひのみみやや風の神をまつる別宮です。鎌倉時代の北庭(きたにわ)の時の、神風(かみかぜ)を吹かせて日本を守った神です。

▶ 五十鈴川御手洗場 いすがわみたらし
参拝する前に心身を清める場所です。清流で有名な五十鈴川で、身も心もリフレッシュしてからお参りしましょう。

バス停
外宮
WC
P

宇治橋鳥居
参宮案内所
衛士見張所
コインロッカー

大正天皇御手植松
古札納所
火除橋
手水舎

第一鳥居
第二鳥居
風日祈宮橋
五十鈴川

五十鈴川